

2024年5月9日
住友生命保険相互会社

～CVCファンド「SUMISEI INNOVATION FUND」からの海外出資第1号～
**The Empathy Project Ltd. へ出資
包括的なグリーフケアの取組みを開始**

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、CVCファンド「SUMISEI INNOVATION FUND」^{※1}から、The Empathy Project Ltd.（Co-Founder & CEO Ron Gura、Co-Founder & CTO Yonatan Bergman、以下「エンパシー」）へ出資を行いました。

※1 詳細は右記 URL をご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/about/cvc/>

1. 出資の背景

住友生命グループはこれまで、保険金の支払いを通じたお客さまの経済的ウェルビーイングだけでなく大切な方がお亡くなりになった際の喪失感や悲しみを乗り越えるためのグリーフケア^{※2}にも貢献してきました。

デジタル化が進展する社会において、保険手続きにとどまらず、グリーフケアについてもデジタルを通じてサービスを提供することが、より多くの方々のグリーフケアの貢献・ウェルビーイングの実現に繋がると考えています。

エンパシーは、心理面、法務面、経済面から包括的にデジタルを通じてグリーフケアを提供することで、ご遺族の方々の不安を解消する課題に取り組んでいます。

こうしたエンパシーのノウハウや知見をグループ全体で収集し、積み上げていくことはWaaS（Well-being as a Service）^{※3}における「Well-Aging」（年齢を重ねても幸せに過ごすこと）領域において、お客さまのウェルビーイングに貢献できると考え、今回の出資に至りました。

まずは、エンパシーのサービスを住友生命の米国子会社である Symetra Life Insurance Company において導入し、活用を進めていきます。

※2 大切な人と死別した人がその「悲嘆（グリーフ）」を受け入れ、立ち直り、再び日常生活に適応することを見守り、支える「ケア（配慮、心づかい）」のこと。

※3 Vitality 健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステム。

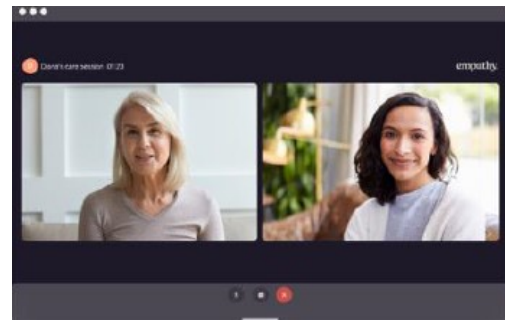
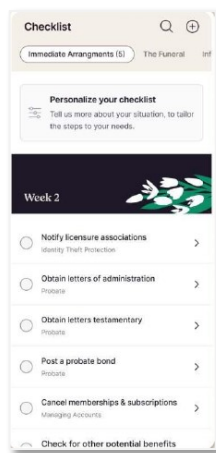
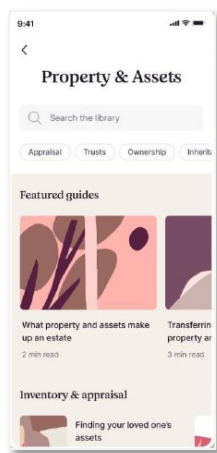
2. エンパシーの提供するサービスの概要

エンパシーは以下のようなグリーフケアに関するサービスをアプリ等を通じて提供しています。このようなサービスは世界的にみてもまだ知られていません。

具体的には、24時間365日対応可能なケアマネージャーチームによる心理面のサポートや、遺言書の検認および遺産管理といった法務面のサポート、故人が保有していた各アカウントや登録済みサブスクリプションサービスの無効化など、23ものサービスからパーソナライズされたアクションプランを提案し、包括的なグリーフケアを提供しています。

* 詳細は右記 URL をご参照ください。 <https://www.empathy.com/>

(本プレスリリース時点では、エンパシーは日本でのサービスを提供しておりません。)



【WaaS の取組みイメージと Empathy の位置づけ】



3. エンパシーの概要

会社名：The Empathy Project Ltd.

事業内容：愛する家族を亡くした遺族の心理的、法的、経済的な手助けをするデジタルアプリ、ウェブサービスを提供

設立：2020年7月

代表者：Ron Gura、Yonatan Bergman

本社所在地：163 W 23rd Street, New York, NY 10011

以上